

平成28年 新春対談

男女共同参画社会の実現にむけて



あけましておめでとうございます。

本村は昨年、開村百二十年を迎え、様々な行事を開きました。

新年を迎えるにあたり「男女共同参画社会の実現」をテーマに東出村長と女性リーダーとして活躍されている山元あけみさん、松本秋子さん、長屋里美さん、五十嵐かつえさん、松本秋子さん、高井幸子さんに様々な角度から語り合っていただきました。

▽東出村長あいさつ

新年来けましておめでとうございます。

昨年は、開村百二十年ということで式典

などの行事・イベント等にて協力いただ

き、無事に周年事業を終えることができま

した。

それぞれの立場で、昨年1年間の出来事

を振り返ってどうでしたか？

▽昨年を振り返って

山元さん 農業委員として1年半が過ぎましたが、女性としての役割がみつけられないままでした。昨年の道外研修で女性委員さんが活躍されている福井県を研修先に選んでいただきたご配慮に感謝いたしております。ありがとうございました。

長屋さん 昨年から教育委員となり、不安もたくさんありました。家族の協力がなければできなかつたと思いますし、常に戸惑いの中でも、しかも、開村百二十年という節目の年でもあり目まぐるしい一年でした。五十嵐さん 二年間、会長として、いろいろな行事に参加させていただき、村に住むようになつて、四十年なんですが、わからぬことだらけでした。当たり前のこと

質問したりしましたが、会長になつて良かったと思います。

松本さん 思いがけなく部長に推していただき、女性部長として活動しましたが、女性部としては、楽しくなければ女性部じやないと考えています。産直市場の支援や自分がこれまで参加していなかつたことに参加をして新鮮な一年でした。

高井さん 昨年、部長となりまして、百一十年の年に務めることができました。産直市場の手伝いや商工まつり、青空まつりなどのイベントや、商工会女性部の研修など楽しんでやっています。家族にも迷惑をかけることもあり、大変な仕事だと思ってい

▽女性が活躍する社会

東出村長 男女共同参画、女性の輝く社会と言われていますが、それぞれの立場で今後、女性が活躍するにはどうしたらよいとお考えですか？

松本さん JAグループでは女性組合員を正組合員の二十五%以上にしようといふ大きな目標をもつています。現在、JA新しのつでは十%にも満たない状況で、会



長屋里美さん
教育委員